

一人一人を大切にした
『学級経営』実践の手引き



[小学校編](#)

[中学校編](#)

平成24年3月
岐阜県教育委員会

はじめに

「学校は子どもたちにとって伸び伸びと過ごせる楽しい場でなければならない。子どもたちが自分の興味・関心のあることにじっくり取り組めるゆとりがなければならない。また、分かりやすい授業が展開され、分からないことが自然に分からないと言え、学習につまずいたり、試行錯誤したりすることが当然のこととして受け入れられる学校でなければならない。さらに、そのためには、その基盤として、子どもたちの好ましい人間関係や子どもたちと教師との信頼関係が確立し、学級の雰囲気も温かく、子どもたちが安心して、自分の力が発揮できる場でなければならない。（1997年 教育課程審議会）」

学級経営とは、このように児童生徒一人一人が大切にされ、児童生徒が自分のよさを見だし、それを伸ばし、自己存在感や自己実現の喜びが実感できるようにする具体的な取組に他なりません。そのために、学級担任は、日頃から温かく児童生徒に寄り添い、児童生徒の気持ちを共感的に理解し、児童生徒との信頼関係及び児童生徒相互の好ましい人間関係を育てることが求められます。また、教育の専門家として、学級づくりの力・学級経営力を高めていくことも求められています。

また、児童生徒を取り巻く環境は、情報化が進むなど急激に変化しており、対応の難しいいじめなどの問題行動の増加が懸念されています。不登校児童生徒の出現率は、依然として高く、不登校児童生徒の減少は、重要課題になっています。こうした状況を踏まえ、問題行動の未然防止、不登校の未然防止のための積極的な取組が各学校・各学級で行われるよう求められています。

さらに、岐阜県は、今後、大量退職、大量採用の時代を迎えます。ベテランの先生の学級経営の考え方や経験から得られたノウハウを若い先生方に確実に伝えていくことが一層必要になってきます。また、若い先生方は、採用と同時に学級担任を任される場合が一層増えてくると考えられます。

このような状況を踏まえ、このたび、学級担任の先生方が日頃の学級経営の充実を図る一助となるよう、「学級経営の手引き」を作成しました。本資料を活用いただき、学級経営に関わる様々な活動の意義や具体的な方途について理解するだけでなく、学級経営の意義や意味についての御自身の考えを整理し、学校や学級の実態を踏まえ、意図的に実践していただくことを期待します。そして、岐阜県の児童生徒一人一人が学級の中に位置付き、安心して自分の力が発揮できる喜びを味わいながら、成長が実感できることを願っています。

本資料の活用に当たって

1 本資料の活用に当たって

- ・「学級経営のことをもっと学びたい」という先生方の参考となるように作成しました。
- ・学級経営について、校内研修等で活用できるよう作成しました。

2 各ページの構成

- ・それぞれの内容は、基本的に以下の3部構成になっています。

- ① 活動の意義
- ② 具体的な方途
- ③ 願う姿の明確化と段階的な指導